

格助詞「の・が」

主格 (……ガ)

連体修飾格 (……ノ)

体言の代用 (……ノモノ)

同格 (……デ)

格助詞で結ばれる上下の文節が対等な資格で並置されている関係。

体言 + 「の」 + 連体形 ⇨ 体言デ ⇨ な体言

例 大きな柑子の木の枝もたわわになりたるが

訳 大きなみかんの木で、枝も曲がるほどになっているみかんの木が

比喩 (……ノヨウニ)

基本問題

(1) 妻の、おのれが影の映りたりけるを見て、

(2) まことにかばかりのは見えざりつ。

これほど

(3) 短きが、袖がちなるを来てありくも、

短い着物 袖ばかりが目立つ

(4) いと清けなる僧の、黄なる地の袈裟着たるが来て、

ちつぱりした